

バージョンアップしました！

三次元画像可視化システム

VOLUME EXTRACTOR

ボリューム エクストラクター

Version 3.0.1.0

機能追加
使いやすさアップ

バージョンアップ内容

○ STL 出力方式追加

等値面を STL として出力をする際、座標系が選択可能になりました(図 1)。従来の表示中心の座標系に比較して、人工関節などの形状データとの配置や数値シミュレーションが容易になりました。

[Tools] - [Preference...] - [General] -
[STL Export Mode]より設定を変更できます

- ・ Center
これまでの Volume Extractor の形式です。ポリゴンを中心リングします。
- ・ Image
三次元画像の座標系で出力します
- ・ Dicom
DICOM 画像の座標系で出力します

○ DICOM 画像のソート方式追加

DICOM 画像から三次元画像を作成する際、スライス画像のソート方向が指定可能になりました(図 2)。

[Tools] - [Preference...] - [DICOM Manager] - [Image Direction]より設定を変更できます

- ・ As-is
スライス番号で昇順にソートします
- ・ reverse Z
スライス番号で降順にソートします
- ・ reverse Z with condition
Image Position Patient タグで降順にソートします。

カスタマイズサービス
日常業務等でお悩みの場合、何でも
ご相談ください！

- ・ 画像処理フィルタの作成
- ・ 処理の自動化
- ・ パラメータ設定
- ・ プログラム開発
- ・ 3D プリンタ用造形モデル作成
- ・ CG モデリング

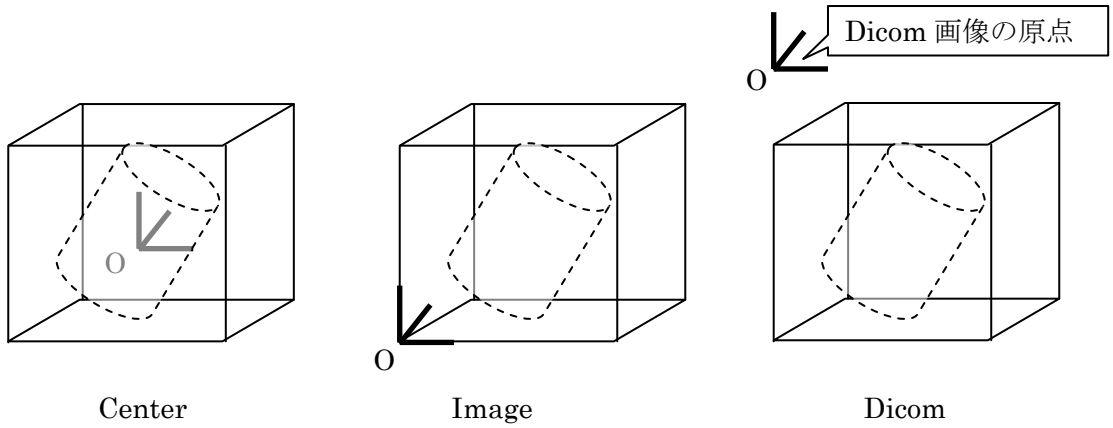


図 1 STL 出力方式

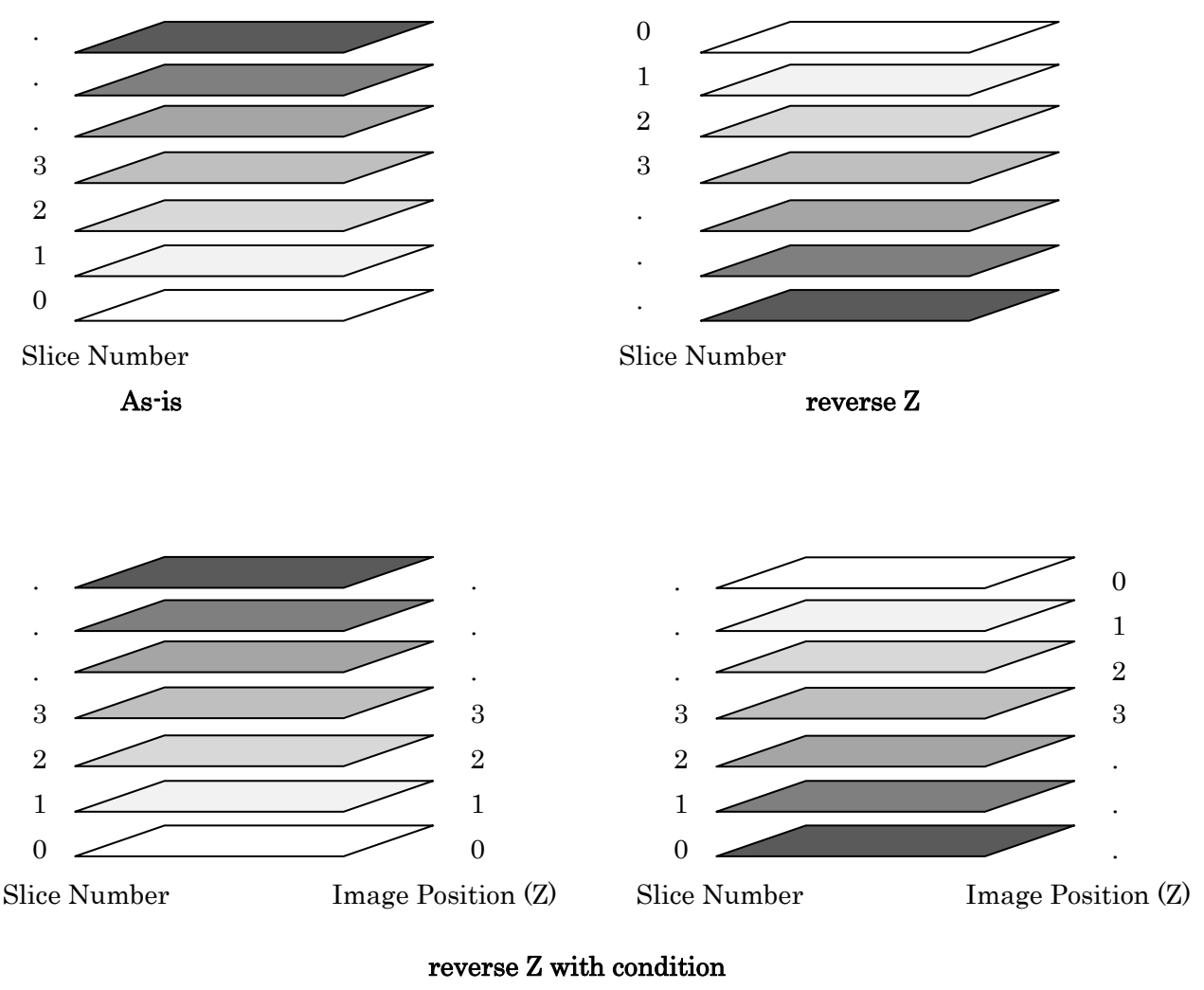


図 2 DICOM 画像のソート方式追加